

進路相談員だよ

第7号（生徒向け）
令和4年10月20日発行
北海道教育庁根室教育局

皆さんはいずれ学校を卒業し職に就いて仕事を始め、
一人前の社会人となっていくことでしょう。
今回は、「社会人とは」「仕事とは」「何のために働くのか」
についてです。



- ・ 皆さんは、学校を卒業したら社会人です。
- ・ 「社会人」とは、「社会に参画し、その中で自身の役割を担い生きる人」のことです。
- ・ 「社会人」に求められることは…大きく2つです。



① 自立する。

- I 経済的自立…自分の生活費を自分で確保し、自分に見合った生計を立てる。
- II 自己管理…健康管理、時間管理
- III 自己責任…言動や選択・判断についての責任

② 双方向で社会に参画する。

◎社会人は、働くことや仕事を通じて社会に参画します。

- I 税金や社会保険料（年金、健康保険、雇用保険）は、国や自治体を通じて社会全体に役立てられます。
- II 具体的に携わる仕事は、企業活動を通じて社会全体や人の暮らしに役立ちます。

- ・ それでは、仕事とは？何のために働くのかということですが、大きく3つです。

① 社会人に求められている「自立した人生」を歩んでいくためです。

「自立した人生」とは、親などに頼らず自分で稼いで独り立ちすることです。

② 自分自身が成長するためです。

仕事を通じ、色々な体験・経験を積み、それらが自分の成長につながります。

逆に、それらが欠落すると「世間知らず」となってしまう、自分の前に立ちはだかった困難や危機に対処できずに損をしたり、困ってばかりの人生となります。

③ 人脈を増やし、自分の人生を豊かにします。

上司や先輩、同僚、後輩等の異なる世代や性別の人、更には仕事上の取引先や関係先の人と関わることで、自分の知らなかった世界を知るばかりか、これら付き合いから生まれる刺激が、人生を豊かにします。

これらは、仕事をしているからこそ味わえます。

※「人はなぜ働かなければならない」の結論！

⇒自立して、より良い人生をおくるため。…だが、明確な答えはありません。

それは、自分が「みつける」ものです。

働くことは個々の価値観によって変わります。

あなたの価値観で決めましょう！



① 誰（何）のために働くのか…「自分」「親・家族」「恋人」「他人」「社会」「日本」「世界」等

② 何を求めて働くか…「お金」「名誉」「安定した生活」「名声」「成長」「人脈」「自立」等

…答えは1つではない！ 自分で合っている内容を見つけよう！！